

住友林業株式会社

きこりんとProject EARTH ～植林によるカーボン・オフセット～

住宅建設に伴い排出されるCO2をインドネシアでの植林によりオフセットする、住友林業ならではの環境にやさしい家づくりです。



荒廃地の植生回復を実施しているプロモ・テンゲル・スメル国立公園



苗を運搬する地域住民の方々

取組の概要

戸建住宅に用いる主要構造材を伐採し建設するまでの工程では、1棟あたり約6トンのCO2が排出されています。住友林業は、インドネシア共和国東ジャワ州において、荒廃地の植生回復を目的とする「環境植林」と、住民と協働して植林・伐採・再植林を繰り返す「産業植林」とを実施し、2009年から2016年までの間に受注しお引渡しした戸建住宅について、CO2をオフセットする取組を実施しています。

オフセットの分類	自己活動型	認証取得(制度名)	なし
取組の実施時期	第1期:2009～2013年、第2期:2014～2016年(植林後の管理は10年間の見込み)		
クレジット	クレジットの種類	—	
	プロジェクトの種類	—	
	プロジェクトの名称	—	
	プロジェクト実施地	—	
オフセット量	約6万トン(見込み)／年間		
無効化日	—		
販売数、参加者数等	—		
価格、参加費、クレジット費用の負担	—		
オフセット・プロバイダー	—		

オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力
2009年から2016年までの間に受注しお引渡しした戸建住宅について、主要構造材の伐採・運搬・加工・住宅建設の工程で排出されるのと同程度のCO2(1棟あたり約6トン×約10,000棟=約6万トン)	居住時のCO2排出量を削減するための家庭用省エネ機器の導入の他、自然の空気、日光を効率よく取り入れ冷暖房の省エネを目指す「涼温房」を取り入れた設計を行っている。
取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点
お客様と共に植林を通じて温暖化対策に取り組むことで、住友林業らしい取り組みとして、他社との差別化ができています。当社が国内で1年間に販売する注文住宅、分譲住宅全棟の主要構造材の伐採・搬出・製材・運搬・施工において排出されるCO2のオフセットを目的とし、企業として地球温暖化に真摯に向き合う姿勢をアピールできています。インドネシア政府や地元との良好な関係の構築に貢献している。	単に植林だけでなく、生物多様性への貢献や地域住民との協業を活動の要素として盛り込んでいます。地域の住民と一緒に取り組む「産業植林」では、生産した木材を買い取る約束をすることで、地域住民が安心して参加できるプログラムとしており、経済発展と環境保全の両方を同時に満たす持続的な取り組みを目指している。オフセットの仕組みや取り組みを社員にわかりやすく伝えるよう紹介ビデオの制作や社内PRIに努めている。

【問い合わせ先】

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室
住宅企画部

TEL: 03-3214-2220(代表)
ウェブページ: <http://kikorin.jp/pje/>